

## 扇山・百三山・猿橋ハイキング報告

【山城】中央線沿線：扇山・百蔵山

【日程と天気】2019年11月20日（日）晴れ

【メンバー】CL菊池・薄井・会員外1名

【行程】

千城台駅 5:50ー都賀駅ー9:29 四方津駅 8:34ーバスー9:00 犬目（500m）ー登山1  
口 9:17ー10:57 扇山山頂（1138m） 11:15ー鞍部（約800m）ー13:15 百蔵山山頂  
（1003m） 3:48ー15:30 猿橋（320m）ー猿橋駅 16:17ー19:07 千城台駅



- ・昨年に続き、今年も立山初滑りは積雪不足で中止となり、予備日を含め4～5日休みを確保しておいたため、日程がポッカリ空いてしまった。ランニングで体力保持増進だけでは面白くないため、急遽前週に続き低山ハイクを計画した。前週に続き、ホリデーバスが利用でき、紅葉と雪富士を楽しめる扇山～百蔵山の縦走に名勝「猿橋見学」とした。お誘いメールをMLに流してみると、薄井さんと友人が加わり楽しいハイキングとなった。
- ・モノレール乗車後乗り換え4回、数分以内の乗り換え時間のため、トイレが問題となったが、高尾発甲府行普通の電車にはトイレがあり一安心であった。売店などでの購入はできないため、食料・水は持参しなければならない。犬目までのバスはほぼ満席状態（立って客はなし）であった。
- ・登山口は犬目のバス停の先に宝勝寺がありそのすぐ先にある。ルートは終始初級向け

の歩きやすい登山道であるがやや急な登り下りがあり、枯れ葉の絨毯の下の木の根っこで滑らないように注意深く登降した。登りは杉の植林のやや暗い登山道からやがて紅葉の広葉林の明るい登山道になる。



短い行動食休憩を取り、1時間半強で広い扇山山頂に到達した。カラマツ黄葉の向こうに昨日の降雪により新雪でリセットされ富士山が望まれ歓声を上げた。気温上昇により、淡い色調の景色であり、5合目あたりにたなびく雲の帯が印象的であった。記念撮影し小春日和の好天にまどろみながらしばしの休憩となった。



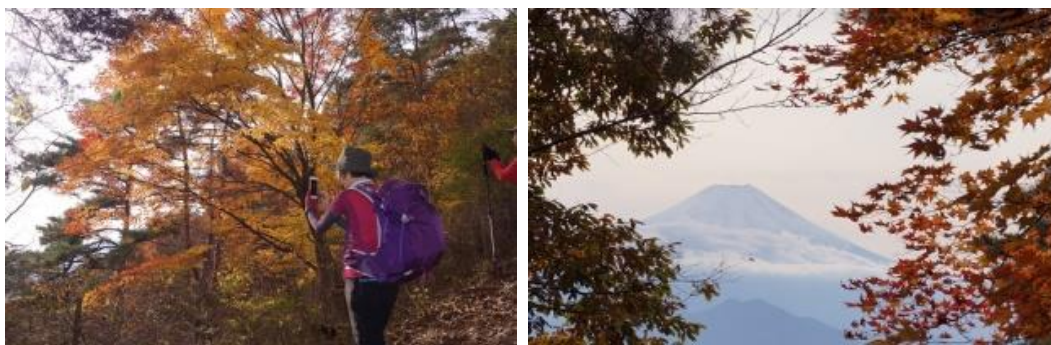
- メンバーの体調も良好のため、予定通り百蔵山への縦走に向かった。枯れ葉の絨毯を敷き詰めた、気持ちの良い登山道の下りを標高差約300m、スリップしないよう慎重に下った。広葉樹林の明るい尾根、真紅のカエデも楽しめた。約1時間行動後、小休憩。



その後百蔵山への登りである。緩い登りから徐々に急になる。赤く紅葉した落ち葉の混じった枯れ葉の斜面に癒されながら、最後は、今回最も急な細尾根の登りを頑張って山頂に到着した。



- ・百蔵山の山頂も広く、大勢のハイカーが休憩しており、われわれもコーヒーブレークと洒落込んだ。下りはさらに西方向に 10 分ほど緩い登山道を下ったターニングポイントから整備された緩い登山道を下った。ターニングポイントには紅葉した素晴らしいカエデが陽光に照らされ、撮影タイムとなった。樹間から見える富士山のショットもよかった。



少し下ると最後の富士山が眺められるポイントがあり撮影タイムとなった。満足の縦走ハイクのフィナーレの登山道を談笑しながら下り、アスファルトの道になり間もなく市営グランド脇の登山口（バス停がある）の道路に到達した。



- ・猿橋駅に向かう途中で名勝「猿橋」を見学すべく遠回りをした。中央高速を運転中に交通情報でよく「猿橋バス停」という名前を聞きますが、名勝とは知りませんでした。ちば山の I さんから前日に猿橋見学を勧められ寄ってみたが、素晴らしいに一語でした。大勢の観光客が紅葉の溪谷美と歴史ある橋を堪能していました。



・猿橋から駅まで徒歩で12分ほど駅の直前にセブンイレブンがありビールを購入すればよかったが、駅にも販売していると考え購入しなかったのは敗因であった。駅から登った2山を眺めながらの冷たいブラックコーヒーも十分美味しかった。

16:17 発の東京行き快速に乗車でき19:07には千城台駅に到着した。

ホリデーパス利用3500円ほどで、これほど充実した日帰りハイクが楽しめるのですね。

